

約100名の親子と地域防災学習会を開催しました！

H29.7.1

～みんなと一緒に考えよう！水害への備え～

豊岡河川国道事務所

円山川流域では、地域の防災力向上を目的に防災学習会を平成23年より継続的に開催しております。今回は豊岡市立八条小学校の5年生のPTA活動の時間を活用し、子どもと大人が大雨時の行動について考える地域防災学習会を開催しました。大雨の怖さや平成16年23号台風の経験を子どもたちに伝え、親子で災害から身を守ることに考える企画に約100名の方が参加され、防災への関心の高さがうかがえました。

- 平成29年7月1日(土)9:30～11:00
- 開催場所:豊岡市立八条小学校 多目的ホール
- 参加者:八条小学校の5年生 約50名 保護者 約50名
- 共催:豊岡河川国道事務所、兵庫県但馬県民局、豊岡市
- 協力:兵庫県防災士会但馬エリア豊岡ブロック
- 内容
 - ・紙芝居「台風がきたぞ」(東京消防庁協力作品)
 - ・災害実験(洪水実験、台風発生実験、土石流実験)
 - ・大雨時の行動を考えよう(豊岡市からの情報提供、八条地区区長会長からのお話、グループワーク)
 - ・国からの情報提供(河川を元気にする取り組み)※廊下にパネル展示を実施(6/29～7/5の期間)



実施状況

紙芝居



台風の備えなどを紙芝居形式で学びました。

災害実験



協力:兵庫県防災士会



協力:兵庫県立大学 松原先生



協力:兵庫県防災士会

3班に分かれて、3つの災害実験を順番に体験しました。どの実験も子どもたちが身を乗り出しながら観察し、休憩時間になっても実験のブースを離れようとしないうる興味津々な様子でした。

国からの情報提供



当事務所の若手職員から「河川を元気にする取り組み」について説明しました。

大雨時の行動を考えよう



豊岡市から出水時に発表する情報を説明いただき、地元区長からはH16年台風で被災した際の自宅の浸水被害状況を写真を交えてお話いただきました。



グループワークでは自分の家を地図で確認し、大雨時にどこに逃げたらいいのかを地図に記載しました。できあがった地図は教室に掲示し、他の生徒にも見られるようにしました。



パネル展



H16年の被災写真を中心に掲示しました。パネルを指しながら、お母さんにそのときの話を聞く児童のみなさんの様子も見受けられました。

【参加した児童のみなさんの感想】

- ・紙芝居がわかりやすかった。
- ・台風のでき方や土砂実験についての実験がたのしかった。
- ・自分の近くが水没するかもしれない事や台風での準備など勉強になった。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
豊岡河川国道事務所調査課
〒668-0025
兵庫県豊岡市幸町10-3
TEL 0796-22-3126(代表)

